

第1回 避難訓練実施計画（地震）案

平成27年5月11日（月）
熊谷市立三尻小学校

- 1 教育目標 進んで学ぶ子 心豊かな子 最後までがんばる子
 2 ねらい (1) 防災に対する意識を高める。
 (2) 地震発生時の避難に対する基本的行動様式を身につける。
 (3) 敏速に安全行動がとれるよう集団行動を行う。
 (4) 児童を保護者に引き渡す訓練を通して、非常時の集団行動のあり方を身につける。

3 日時 平成27年5月12日（火） 14:10～14:55（特別日課6時間目）

4 場所 校舎内外

5 参加範囲 全校児童・職員

6 計画

・事前指導

- ①日頃の地震に対する備え、避難経路について話す。
 ②避難時は「おかしも」を徹底する。
 お —— おさない
 か —— かけない（校舎内のみ・外は小走り）
 し —— しゃべらない
 も —— もどらない
 ち —— ちかづかない
 ③整列順序を決めておく。
 ④校内放送をしっかりと聞かせる。

2:13	地震の放送
2:20	避難完了 校長講話
2:35	教室に戻る
2:45	教室を出る
2:40	保護者集合時刻
2:50	引き渡し訓練開始

※6時間目が始まるまでに帰りの準備等は済ませておく

・当日

基本行動	教師の行動	児童の行動	
地震発生 の 通報	(2:13) 訓練、訓練、避難訓練。 関東地方に大きな地震が発生しました。全員、机の下に避難しなさい。 (1分後)管理棟湯沸室より火災が発生しました。先生の指示に従って校庭に避難しなさい。		
通報の確認			
避難出口の確保	(緊急放送・教頭) ①通報内容を正確に聞き取らせる。 ②窓を閉め、出入口を開けさせる。	①勉強を止め、静かに放送を聞く。 ②出入口を素早く開ける。	
危険物の処理 校庭へ避難	③電気のスイッチを切る。（ガス等の栓を閉める。） ④屋外避難の指示をする。（上履きのまま） ⑤担任は名簿を持つ。 ⑥避難経路から避難する。 けが人や心身に障害をもつ児童は十分に配慮する。 ⑦避難場所でただちに人数の確認・報告 担任→学年主任→教頭→校長 *校長先生の話・講評	③静かに教師の指示を待つ。 ④紅白帽子をかぶる。 ハンカチを口に当てて避難する。 ⑤「おかしもち」を守る。 ⑥校舎内は走らない。校庭にでたら、小走り。	
引き取りの訓練	①教室に戻り指示を出す。 ②担任は引き取り訓練について話をする。 ③学級担任は引き取り者に引き取り名簿を確認の上、児童を引き渡す。 ④学級担任は児童全員の引き渡しが済むまで移動しない。	・教室に戻り、帰り支度をする。 ・校庭に出て、緊急時下校の位置に集合する。 ・引き取り者と一緒の下校する。	
	<table border="1"> <tr> <td> 保護者の動き ・連絡があるまで校庭で待機する。 ・児童を引き取り、徒歩で一緒に帰る。 </td> </tr> </table>		保護者の動き ・連絡があるまで校庭で待機する。 ・児童を引き取り、徒歩で一緒に帰る。
保護者の動き ・連絡があるまで校庭で待機する。 ・児童を引き取り、徒歩で一緒に帰る。			

・事後指導・評価

①避難訓練の反省をする。

- ・「おかしもち」を守って、迅速・安全に避難できたか。
- ・地震時火災発生の場合の避難の仕方、避難経路を覚えることができたか。

②防災についての心構えを確認する。

③迅速に引き渡し全員実施できたか。

指揮系統 校長（教頭 → 学年主任 → 学級担任）

*報告は、指揮系統の逆の順で行う。

※報告の仕方「〇年生児童数〇名、欠席〇名、合計〇名全員います。」

自衛消防隊長（校長）

自衛消防副隊長（教頭）

係 名	責任者	内 容
通報連絡係	・教頭	・火災通報
初期消火係	・栗原利、太田、 業務	・消火器およびホースでの初期消火
避難誘導係	・各担任	・児童の避難誘導及び人員の確認、報告
非常品搬出	・戸谷、栗原正	・非常物品（出席簿等）の搬出及び管理
救護	・櫻沢	・負傷者等への救急措置

8. 避難経路図 別紙

9. 警備保障へ連絡（523-2355）

※最後に昇降口を閉めるクラス

第4昇降口（下条） 第3昇降口（大澤）

第2昇降口（半田） 第1昇降口（増田）

10.

※雨天時の場合も引き渡し訓練は校庭で行う。

※黒板の下に板目表紙に名簿を貼り付けて置いておき、それを持って教室担当者は外に出る。

※必ず帽子をかぶって避難するようにお願いします。

※昇降口にぞうきんを用意（櫻沢）